

令和6年5月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,340	60,547	60,800	60,861	△ 253	△ 314
2 調定量	m ³	664,052	1,255,530	1,239,000	1,244,740	16,530	10,790
3 調定料金(税抜)	円	199,678,531	381,633,665	376,000,000	336,651,054	5,633,665	44,982,611
4 口振加入件数	件	24,880	49,613	—	49,963	—	△ 350

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,226	38,527	38,670	38,199	△ 143	328
6 調定量	m ³	405,819	779,956	756,990	763,869	22,966	16,087
7 調定料金(税抜)	円	74,924,729	144,660,988	142,430,000	121,835,545	2,230,988	22,825,443

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	72,532	—	73,992	△ 1,460
9 給水件数	件	30,180	—	30,245	△ 65
10 開栓処理件数	件	222	740	704	36
11 閉栓処理件数	件	275	574	580	△ 6
12 給水工事設計審査	件	50	90	106	△ 16
13 給水工事竣工検査	件	45	81	94	△ 13
14 経年メーター交換	件	419	735	324	411
15 メーター口径変更	件	1	1	4	△ 3
16 督促状発送数	件	1,375	2,811	2,702	109
17 月末停止件数	件	118	—	102	16

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	25	57	74	△ 17
19 排水設備工事完了検査	件	19	38	65	△ 27

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	228,868,977円	45.48%	197,312,843円	46.72%	△ 1.24%
21 過年度分	5,928,186円	97.10%	6,088,015円	96.69%	0.41%
22 計	234,797,163円	-	203,400,858円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	96,496,983円	39.36%	79,903,859円	40.40%	△ 1.04%
24 過年度分	3,756,433円	95.94%	3,483,398円	95.44%	0.50%
25 計	100,253,416円	-	83,387,257円	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	0円	-	0円	-	-
27 過年度分	1,353,500円	4.29%	1,436,700円	17.51%	△ 13.22%
28 計	1,353,500円	-	1,436,700円	-	-



登米市水道事業キャラクター「ジョーくん」と「スイちゃん」、登米市下水道事業キャラクター「水守(みちる)さん」

特 記 事 項

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は219,646千円(税込)で、前月期に比べて19,496千円の増、対前年同月比では29,902千円の増となっています。営業収益は220,117千円、営業外収益は補償金や預金利息など6,228千円となりました。当期の営業費用は委託料や動力費など86,548千円、特別損失は2千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,518千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など19,424千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は82,388千円(税込)で、前月期に比べて5,649千円の増、対前年同月比では14,544千円の増となっています。営業収益は82,393千円、営業外収益は、負担金や雑収益1,566千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など89,527千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として事務費2,600千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 令和5年度決算書を提出

令和5年度水道事業会計及び下水道事業会計決算を調製し、5月20日付で市長へ提出しました。概要は次のとおりです。

【水道事業会計】

令和5年度の業務量は、配水量9,127千m³、有収水量7,451千m³で配水量に対する有収水量の率(有収率)は81.6%で、前年度比0.2ポイントの減となりました。

収益的収支(税抜)は、水道事業収益が25億2,212万円で、その84.1%を占める給水収益は、給水人口及び1人当たりの有収水量は減少しているものの、水道料金の改定により増加し、前年度比では8,984万円の増額となりました。

水道事業費用は24億2,353万円で、浄水施設改修費の減少、保呂羽浄水場再構築事業事業者選定支援業務等の委託料の減少や令和4年7月に発生した大雨による災害復旧費等の減少により前年比2,080万円の減となり、当年度純利益は9,859万円となりました。

【下水道事業会計】

令和5年度の業務量は、水洗化世帯数は19,482件で、前年度比175件の増となりました。

収益的収支(税抜)は、下水道事業収益が35億2,575万円で下水道使用料が7億8,699万円であり、前年比4,527万円の増となっています。その他の収入は他会計補助金が14億5,752万円、長期前受金戻入が12億3,547万円となりました。

下水道事業費用は34億7,594万円で、令和4年7月に発生した大雨による災害復旧費や固定資産除却費等の減少により前年比1億629万円の減となり、当年度純利益は4,982万円となりました。

(2) 市民参加の新たな森林づくり植樹祭・春に参加

5月26日(日)令和6年度「市民参加の新たな森林づくり植樹祭・春」が津山町柳津地内で実施され、市民や地元のみどりの少年団など143名が参加し、上下水道部からは職員5名が参加しました。市では、市民参加のもとで環境と産業が共生する持続可能なまちづくりを目指しており、森林・林業に対する理解を深めてもらう機会として植林活動を実施しています。上下水道部でも、植樹活動をとおり、水の大切さ及び森林保全活動に積極的に参加することで、水の循環を支えていきます。当日は、植樹の後に、給水車から水を提供しました。



【植樹後の手洗いの様子】

令和6年5月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	835,057	1,646,987	1,587,430	1,627,140	59,557	19,847
総配水量	779,988	1,537,295	1,480,810	1,523,612	56,485	13,683
1 有効水量	699,382	1,323,326	1,314,970	1,306,681	8,356	16,645
(1) 有収水量	668,495	1,264,417	1,247,800	1,253,639	16,617	10,778
(2) 無収水量	30,887	58,909	67,170	53,042	△ 8,261	5,867
2 無効水量	80,606	213,969	165,840	216,931	48,129	△ 2,962
(1) 漏水量	80,269	213,589	164,600	216,417	48,989	△ 2,828
(2) その他無効水量	337	380	1,240	514	△ 860	△ 134
3 有収率	85.71%	82.25%	84.26%	82.28%	△ 2.02%	△ 0.03%

※ 当月期の最大配水量は、5月2日（木）に記録した【27,146m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	9	721,792	4	619,831	0	1,004	100,957	86.0%
配給水施設整備事業	43	1,333,284	2	25,092	0	5,562	1,302,630	2.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 積算システム操作研修会を実施

5月21日（火）、積算システムの操作能力の向上と、理解を深めることを目的として、積算システム操作研修会を実施しました。

研修会は、積算システム初心者向けの初級編を実施し、人事異動で配属された職員2名が参加しました。

参加者は、講師から積算システムの基本操作等の説明を受けながら、実際に積算システムを操作し、工事設計書の作成などを行いました。

この研修会は、来年度以降も引き続き実施してまいります。



【積算システムの説明を受けている状況】

2 石越浄水場沈殿池の清掃作業を実施

5月22日（水）、石越浄水場の沈殿池清掃作業を行いました。沈殿池に汚泥が堆積すると、浄水処理に影響を及ぼすことから、定期的に清掃を行うこととしています。

また、清掃作業に併せて、沈殿池内部や可動部の状態確認も行いました。この作業は、年4回実施する予定です。



【沈殿池清掃作業の状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
	配水管	6	5.740
付属施設	0	0.000	
給水装置	40	23.560	
計	46	29.300	

【漏水調査結果：4月～5月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）

約202,592円/日当たり

算定：R5年度給水原価 291.08円

累計漏水量 29.300m³/h

29.300m³/h × 24h × 291.08円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位: m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	51,275	102,297	102,019	278	3処理場
米谷・錦織処理区	10,267	20,662	21,513	△ 851	
豊里処理区	29,827	59,372	58,945	427	
津山処理区	11,181	22,263	21,561	702	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,411	24,006	23,122	884	
農業集落排水	107,943	216,946	224,401	△ 7,455	24処理場
迫地区	8,194	16,400	16,715	△ 315	
東和地区	2,753	5,456	5,610	△ 154	
中田地区	30,834	62,084	63,139	△ 1,055	
豊里地区	1,996	3,940	3,704	236	
米山地区	44,737	90,783	95,325	△ 4,542	
南方地区	19,429	38,283	39,908	△ 1,625	R6.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	47,666	90,438	86,548	3,890	2,163基
合計	474,629	942,394	983,707	△ 41,313	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	723,015	2	1,683	0	1,421	719,911	0.4%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	89	589,408	7	13,992	0	3,472	571,944	3.0%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

令和6年5月15日に南方町の新高石地区、畑岡地区、沢田地区の農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による放流水の水質検査が行われました。

今回の検査において対象となった3箇所の処理施設の放流水について試料採取を行い、水質検査を実施したところ、全て水質基準値内となっており、問題はありませんでした。



【試料採取状況】

2 浄化槽整備推進事業の実施状況

浄化槽設置工事は、既存の建物や構造物などの配置、浄化槽の設置スペース、処理水の放流先の確認などの現地調査や、土地使用契約の手続きなどが必要であるため、申請の受付から工事完了まで、約4カ月の期間が必要となります。現在の実施状況については、4月期の申請受付分の8件のうち4件が契約済みとなっており、5月期は10件の申請を受理し、工事発注に向けての手続きを行っています。

○浄化槽整備事業受付状況

(5月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	18	62